

## 高知県教育委員会 会議録

平成26年度第2回教育委員協議会

場所：高知県立人権啓発センター

### (1) 開会及び閉会に関する事項

開会 平成26年5月17日(土) 13:30

閉会 平成26年5月17日(土) 17:10

### (2) 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	教育委員長	小島 一久
	委員	久松 朋水
	委員	竹島 晶代
	委員	八田 章光
	委員	中橋 紅美
	委員(教育長)	田村 壮児

### (3) 高知県教育委員会会議規則第9条の規定によって出席した者の氏名

高知県教育委員会事務局	教育次長(総括)	勝賀瀬 淳
〃	教育次長	中山 雅需
〃	教育次長	永野 隆史
〃	参事兼教職員・福利課長	彼末 一明
〃	教育政策課長	有澤 功
〃	高等学校課課長	藤中 雄輔
〃	高等学校課企画監	坂本 寿一
〃	教育政策課課長補佐	中平 貢正
〃	高等学校課課長補佐	竹崎 実
〃	高等学校課課長補佐	高野 和幸
〃	教育政策課チーフ	溝渕 松男(会議録作成)
〃	教育政策課主任指導主事	葛原 彩子(会議録作成)

### (4) 教育委員長の依頼により出席した者

高知南中学校・高等学校校関係者 保護者代表(5名)  
校友会代表(4名)  
進取会代表(3名)  
国際教育振興会代表(4名)

【冒頭】

委員長 教育委員協議会を開催する。

教育長 (あいさつ)

本日は「県立高等学校再編振興計画」をテーマといたします、教育委員協議会の本年度第2回目の会でございます。これから、この問題に関係する関係者の皆様、有識者の皆様等のご意見を伺って行こうと考えております。本日は、その第一段といたしまして、高知南中学校・高等学校の関係者の皆様にご出席をいただいております。皆様におかれましては、ご多用中のところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

さて、グローバル化や産業構造の変化、あるいは人口の減少といった社会環境が変化していくなかで、県立高等学校の振興に向けて、学校の再編や統合という課題にどう取り組むべきか、平成23年9月から県立高等学校再編振興検討委員会で協議していただき、昨年2月に報告書にまとめていただいております。昨年度は、その報告書を踏まえて、事務局において教育委員からのご意見をいただきながら具体的な県立高等学校の再編振興のあり方について検討を重ね、12月から教育委員協議会として公開の場で協議をはじめ、1月末に、たたき台をお示しさせていただいたところでございます。

この「再編振興計画」につきましては、最終的に決定する前に、案を公開して進めて行こうという考え方のもと、「たたき台」を1月にお示しいたしましたが、その時期が受検の時期に重なってしまったことは、配慮が足りなかった面があると反省しております。生徒のケアには学校と連携して努めていきたいと考えています。

本日は、皆様からこれまでにいただいたご意見を踏まえまして、改めて、教育委員会事務局から、「たたき台」について、より詳しい説明をいたしました後に、皆様から、ご意見をそれぞれお聞かせいただきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

【協議 県立高等学校再編振興計画について（高等学校課）】

○高等学校課企画監 説明

○高知南中学校・高等学校関係者 保護者代表との意見交換

委員長	これまでの保護者の皆さんの意見の中で特に多かった「なぜ高知南中高なのか」、「学級規模の必要性」について詳しい説明をさせてもらった。今から保護者の方の意見をお聞きしたいと思う。
保護者代表	それでは、保護者の方から発言させてもらう。 現在、高知南高校のPTA会長をしている。よろしくお願ひしたい。 まず、この場を設けていただいたことについて、ありがとうございました。この会は第2回協議会となっているが、私たちは1月の新聞報道以降、2回の保護者説明会で教育委員会事務局から説明を受けた。その時の質疑の中では、「保護者に対して説明して欲しい」との意見に対して、「説明します」との回答の

	<p> ままで今日まできている。1回目の1月30日では「持ち帰ってまた検討します」と、2回目の2月15日にも保護者に説明があったが、その中でも「委員の皆さんが保護者会の方に来て説明します」との話があった。しかし、それ以降まったく連絡もなく3月に突然の教育長の辞任、4月の人事異動では教育委員会事務局の大幅なメンバーの交代があった。なぜ今回、第2回教育委員協議会の開催となったのかが分からない。そこが疑問であり、初めに聞きたいことである。今回いきなり本年度2回目の教育委員協議会に我々が出てくるのはやぶさかではないが、なぜこの場になるのか。保護者にまず説明すると言ってきたが、保護者に対しての回答がないままになっていることが分からない。それから1月以降3月8日までに、教育委員協議会が5回開催されているが、その際の資料が保護者に入ってきていない。当事者である我々保護者に情報が一切流れていない。高等学校課長さんが「当事者ではないので分からない」と発言したが、我々は当事者であるのに情報が入ってこない。本日の資料は初めて見る資料である。この資料が突然出てきたものであるように思われる。1月の発表時点ではこのような資料が一つもなかった。「どういったものを検討し、どういった協議を重ねて、どういった資料がありますか」と聞いた時も「統合という案1案のみです」とのことであった。それがどうしてこのような資料に結び付いたのか。発表後に色々な資料を委員会の中で出されているが、それは本当に有効であるのかどうか各委員さんに聞きたい。委員さんは、1月の発表以前にこの根拠となる資料を見て議論を重ね、協議を重ね、有識者なるものの判断で再編計画について了承をしたのか疑問に思う。 </p> <p> これらを、我々の思いを言わせてもらう前に聞きたい。その後で具体的な質疑と我々保護者の思いを伝えたい。 </p> <p> これは、質疑の場になるのか。また、パブリックコメントを行う、学校に来て説明する、学校を見学すると言っていたがどうなっているのか。今回の第2回教育委員協議会がどのような位置付けなのか。この場がパブリックコメントなのかまずそこを聞きたい。 </p> <p> 保護者の方々にもっと早く説明をするべきではなかったかとのお話であるが、1月に、教育委員協議会としての、その時点でのベストの案をお示しさせていただいたと思っている。高知南中高校の保護者の皆様、関係者の皆様、高知市議会から色々な意見を頂いたことを受けて、本日、特に説明させて頂いた「なぜ一律削減ではいけないのか」「なぜ高知南中高なのか」が疑問の中心だと思ったので、説明できるように十分協議し、その協議の中での資料作りに一定の時間が必要であり今日の場に至ったことをご理解していただきたい。 </p> <p> それから、この場がパブリックコメントなのかとの質問であるが、会の冒頭でも触れたように今は再編振興計画のたたき台を示している段階である。今後、このような場で意見を頂きながら最終的な案を作っていきたいと考えている。最終的な案ができてからパブリックコメントを行うという考え方である。 </p> <p> 保護者代表 教育長から発言があったが、時系列でいえば県立高等学校再編振興検討委員会 </p>
--	---

	<p>が平成 23 年 9 月から始まり、平成 25 年 2 月に報告書が出ている。平成 25 年 12 月から教育委員協議会が開かれたので、その間 1 年近く会がなかったことになる。12 月以降に開かれた会が平成 26 年 1 月 27 日であり、その日の夕方に新聞社に発表し、翌日 1 月 28 日付けの高知新聞発表に至り、その後、2 月からは立て続けに教育委員協議会が開かれている。</p> <p>その間に、我々が要請した保護者説明会で、「なぜこういった案なのか、なぜ人数削減案なのか」を示す資料はあるか、と言っても出てこなかった。本来、案というものは、資料に基づき検討、協議を重ねた上で出てくるものであると私は認識している。</p> <p>このことを委員の皆さんはどう認識しているのか、各委員さんにお聞きしたい。</p> <p>1 月 27 日までの協議会の会議録を見る限り、今日のようなデータ、資料を使っただけの説明がされていないと思われる。もしよろしければこの場にもペーパーでお持ちしているので、見ていただいて、どのような資料をもとに検討したのか、振り返っていただきたい。後から、こじつけのように資料出すことは少し違うように思われるがいかがなものか。</p>
委員長	<p>再編計画に関する教育委員会協議会はこれまでと違って、公開の会である。基本的な考え方から具体的な学校の名前が出てくるところまで公開で行う訳なので、それに関する資料については、検討委員会の報告を含め、教育委員会の非公開の会で議論をしてきた経緯がある。たたき台を受けて保護者説明会で説明させていただいて、我々も、もう少し丁寧に細かいデータを示しながらの説明が必要でないかという判断で、新たな資料の作成を事務局に依頼した。それに至るまでには検討委員会の報告が出てくるまでもいろいろな形の資料があり、それを基に勉強をして、議論を行ってきた。</p>
保護者代表	<p>質問した内容と少し違いが生じていると思われる。協議をしてきたとは、現在までの結果である。私が言っているのは、今までに協議を重ねてきたという資料があるのなら、1 月 27 日までに、今日のような資料をもとに事務局がたたき台をつくり、校名は伏せたとしても、教育委員協議会で議論を行うべきなのではないかということである。また、本日は、防災や震災に関しての細かい資料が出ているが、説明会当時に「このような資料はあるか」と尋ねた。県等の他の課の考えはこうだがと尋ねたら、「知らない」との回答であった。にもかかわらず、今、この資料を出してきている。時系列的な繋がりが見られないということを私は言いたいのだが。</p>
委員	<p>発言の意味を正確に把握できていないが、教育委員会の会議録として公開されていない、教育委員の勉強会の中で、私たちは、非常にたくさんの資料で勉強させて頂いて、この再編振興計画についての議論をしてきている。具体的な資料をそのまますべて公開している訳ではなく、県民の皆さんに理解していただけるように分かりやすい形の資料にまとめるために時間を要したと理解している。</p>

保護者代表	<p>そうであるなら、十分に検討をなされて再編計画が練られ、いろいろな資料も反映しながらまとめたと言うことで、質疑をさせてもらう。</p>
保護者代表	<p>P T Aの副会長をしている。確認させてもらいたい。2月18日に正庁ホールで行われた教育委員協議会を見学させていただいた。その時、教育委員長と教育長以外の4名の方々が、事務局から資料をもらったが、保護者からの意見はいただけていないので、自分たちが行って保護者の意見を聞かなければならないと、皆さんが発言をした。それから3ヵ月たつての今日である。</p> <p>もう一つ、もっと大事なのは、その「保護者の意見を聞きに行かなくては」との発言があった10日後に前教育長が2年も任期を残して辞められることになったことだ。一般の会社などで、一番の責任者が任期を残して辞められるということは、それなりの問題があったのではないかと考えるのが一般的であると思う。退職に当たつての経緯やなぜ承認されたかということ私どもに説明していただきたい。</p>
教育長	<p>再編振興計画問題と前教育長の辞任とは全く関係がない。辞任の理由は2点ある。就任されて6年になり、新しい考え方を取り入れることが必要であり、長期間教育長を務めることの弊害があること。もう一つはプライベートな理由である。直接聞いている話でありこれ以上でもこれ以下でもない。</p>
保護者代表	<p>去年までP T A会長で、顧問をしている。</p> <p>教育長が変わったが、6年間の長期政権で、直前にこんな大きな問題を提案しておいて辞めるのは、いかにも無責任ではないか。また、高等学校課の企画監も替わった。それも同じような家庭の事情なのか。</p>
委員長	<p>教育委員会は、異動があったとしても、考え方などは継続して行っているのが現実の姿である。</p>
保護者代表	<p>P T A副会長である。</p> <p>今日、来て驚いたことがある。今日は、保護者の思いを聞いていただけということで、今までの3～4ヵ月の話の中で、やっと答えが出たと思って席についた。席について初めにこの資料が出され、これだけメディアが入っている中で、さも自分たちが作成したかのように資料の説明があった。説明は大変良く分かった。内容も分かった。ただ、これが出るまで3～4ヵ月かかっている。今後、我々はこの資料を持ち帰って保護者と相談しないとイケない。我々は保護者の代表であるが、保護者の意志そのものではない。そのような時間を取っていただけるものか。</p>
教育長	<p>今後の進め方ということだと思うが、このような形で色々な関係者の方々、有識者の方々から順次話をお聞きしていく。その中で、今の案で良いのか、別の案を考える必要があるのか等を検討したうえで取りまとめた考え方を説明させていただく機会をつくる必要があると思っている。</p>
保護者代表	<p>お聞きしたのは、この資料を持ち帰り分析する時間を頂きたいが、その時間を、2～3ヵ月先までいただけるのかということだ。</p>
委員長	<p>今日は皆様のご意見を聞くつもりでした。これまでたたき台をお示しし、何度</p>

	<p>かやり取りがあり、本日があるが、最終的な案をつくっていかねばならない。ご意見は、今後我々が協議していく1つの参考資料となると思っている。再度会を開くかは状況を見て判断していきたい。</p>
保護者代表	<p>今日の資料は突然出てきている。今日はいくまでも「意見」を聞かれる場であり、我々は、当初、教育長をはじめ委員の皆さんに来て説明していただけないかという話を進めていたが、実現していない。その間に色々な資料が出てきている。このことに対する、我々の思いが分かるかお聞きしたい。</p>
保護者代表	<p>先程は質問形式でなかったもので、聞き方が悪かった。2月18日の協議会では委員長と教育長以外の4名の方が、熱く、事務局の資料だけではいけない、自分たちが現場に行って話を聞かなくてはならないと発言された。それから3ヵ月以上経っている。事務局の色々な資料を見ていたのだと思うが、皆さんの今の考えを聞かせていただきたい。</p>
委員	<p>保護者会の意見を聞くことは委員の総意である。ご指摘のように遅れたことは非常に申し訳ない。先月にも会を開催しようとの話になっていた。ただもう一度、皆さんのご意見を聞くだけでは事務局が聞くのと同じことの繰り返しとなるので、我々としては、何らかまとめたものを作り、それと皆様方の意見に対してお答えができる形で面談の場を設けるとすべきではないかということで遅くなった。その点は非常に申し訳なかった。ただ、2月に設けたのと同じ場を設けても意味がないと思っている。</p>
委員	<p>私が一番、皆さんの生の声を聞きたいと発言をしたと思う。今現在、皆さんにとって高知南中高校の統合問題は非常に厳しいことであると思う。ただ、私たちとしては、先を見通してやっているの理解して欲しいと思う。まず、子どもたちの命を考えると、生徒さん、教職員を含めて1,000人いる高知南中高校のことを考え、理解していただきたいと思う。</p>
委員	<p>皆さんのもっと熱い意見を聞きたいと思うのでよろしく願いたい。</p> <p>私も保護者のご意見を聞きたいと発言した。保護者の意見を事務局で整理したものを一つ一つ丁寧に全員で議論した。ただ、同じことを聞きに行くのでは意味がない。一つ一つ協議し、ご理解いただくためには、どんなことを我々は煮詰めて話をしなければいけないのか、そのような準備をこれまでしてきたつもりでいる。形としては唐突になるかもしれないが、できるだけわかりやすく準備した資料が本日のものであるとご理解していただければと思う。</p>
委員	<p>私も保護者の話を聞くことが非常に重要なことで大切だと考えている。ただ、先程からの話に出てきているように、事務局が学校の方へ出向いて2回皆さんの声をお聞きしている。また同じことをしても仕方がないし、皆様の意見を集約すると、大きく2点に分かれるのではないかということで、本日の資料が作成されている。大きくお答えを差し上げた上で、さらに皆さんの意見をお伺いたいということでこの場を設けたと理解している。</p>
保護者代表	<p>今の委員4名の意見を確認するが、事務局が作成された「保護者の意見」の資料は、保護者に内容の確認をしたものか。確認である。端的に言うと事務局が</p>

	<p>都合の良い意見ばかり記載した資料が皆さんに回っているのではないかと。2回に渡って開かれた会の意見は、このような形で委員の皆さんに見せて良いのかとの確認は我々には一度もない。それを確認の上で、保護者の意見を聞いているということか。</p>
<p>委員長</p>	<p>私も当然保護者の意見を聞きたいと考えている。ただ、意見の聞き方は様々あり、今回はこのような形でお聞きすることにした。ここで説明する資料について、我々はかなり意見を言っている。それをもとに事務局に資料を作ってもらい、今日の説明となっている。各委員とも慎重に議論した中身である。</p>
<p>保護者代表</p>	<p>委員さんは学校の先生の意見を聞かなければならない、学校の方に出向いていきたいと言っていたが、してくれていない。このような状況で、県民が気になっているのに。子どもたちは毎日、どのような思いで学校に通っているか。本当に早くしたいのなら、本当に歩み寄りたいのなら、なぜ、言ったことをしないのか。ペーパーで学校の方とはやり取りをしたと高等学校課長さんが発言していたが、この前の協議会では、委員の方が出向いて教職員の意見を聞いてという話もしていた。そのようなことも全然なく、このような資料を作って持って来て、保護者の意見を聞きたいということで、保護者の意見もだが、今通っている子ども達の意見を聞くのが大切だ。</p> <p>南海トラフ地震や津波などと言っているが、どのような状態であの学校をつくったのか。つくる時にももめている。いろんなことをご存じの上で無理してつくり、このような事態になって南海トラフ地震がいけないから高知西高校と一緒にするでは、地域の方々も納得はしない。地域の方々も民間の会社も、防災の面において等、協力してやっている。それを、話を次々出してくるのはどうなのか。本当の教育とは何なのか。子どもたちの未来を考え、教育、勉強も大事だが、今やっていることは、子どもたちを潰しているのではないかと。私はそう思う。</p> <p>小島委員長が言ったように、ちゃんと説明しないと聞けないという気持ちも分かるが、全然伝わってこない。全て委員が進めていることを言うばかりで、こちらの言うことには「分かっている」というが、分かってくれていない。「理解して欲しい」、「同じことをしても意味がないので、今回のやりかたで」という言い方もどうかと思う。子どもたちは犬や猫ではない。毎日毎日あそこに通っている。昨日も吹奏楽部の定期演奏会があり、割れんばかりの拍手だった。3年生の子は泣いていた。こういう状態でも生徒はみんな一生懸命やっている。そのような子ども達を切りすてるような話し合いをもつべきではないと思う。きちっとした話し合いをするべきではないのかと私は思うが、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>我々としても誠意をもって、高知南中高校の関係者の気持ちを考えながらいろいろな形で進めていくつもりである。決論ありきではなく、ご意見を聞き、そして最終的には案作りを進めていきたいと思う。今まで直接学校に行けず、この会も期間的に遅れたことについてはお詫びしなければならない。我々は、精</p>

保護者代表	<p>一杯努力しているのでよろしくお願いいたします。</p> <p>もう 30 分たっている。もう少し紳士的に対応してもらいたい。4 月 26 日に教育委員会事務局の方が来て、保護者の意見をお伺いする場を設けたいので来てくださいとのことで今回この場に来ている。2 回の保護者会での質疑の回答がなされないままである。我々はホームページで教育委員協議会の閲覧できる可能な限りの資料を見ながら、思いをまとめさせて頂いた。読ませてもらいたいと思う。これが私たちの本当の思いである。教育長、教育委員長、各委員の方々に同じものを回したいと思うので一つ一つに対応していただきたい。資料を読ませていただくので、後日回答を頂きたい。我々は 5 月 15 日に臨時の P T A 総会を開いている。そこで意見を頂いた。全体で 11 ページになる。</p> <p style="text-align: center;">＜質問を読み上げる 別紙参照＞</p>
教育長	<p>膨大なご意見をありがとうございました。保護者の方々から頂いた意見を列挙していただいたと理解してよろしいか。</p>
保護者代表	<p>そうである。合わせて 2 回保護者説明会の中で回答が無かった質問をまとめたものもある。今まで答えてもらえなかった状態で今日の資料を見せられている。4 月になって意見を聞く場を設けるとの提案があり、総会を開きその方向を確認させていただいた。我々は慌てて意見をまとめ、役員会や臨時総会を開きこの意見をまとめた。保護者は今日の資料を見ていない状況である。</p>
教育長	<p>意見をまとめたいいただき感謝している。頂いた意見であるので「たたき台」をどのようにしていくかの検討に活かしていきたい。回答の方は、本日時間が無いので後日時間を頂いて回答していきたいと思っている。</p>
保護者代表	<p>回答は後日で構わない。本日の資料は初めて見たので、保護者の方々に説明しなければならぬ。逆に来てもらって説明していただいても良いが、この事についても質疑が出てくれば、回答していただかなければならぬので、了承してほしい。</p>
保護者代表	<p>今日の資料について質問したい。生徒数の大幅な減少が続くとあるが、10 年後には約 1,000 人、20 年後には約 2,000 人の中学卒業生数が減るようであるが、高知南高校の 1 学年 200 名を減らしただけで、本当に 6 学級が維持できるのか。他の学校を順次閉校していくのか。そうでないと数字が合わない。このような数字では高知南高校だけを閉校しても 10 年後には 6 学級は維持できない。まったく意味をなさないことである。もっとグローバルな視点で統合案を考えていかないといけない。高知南高校の 200 名位減らしても焼け石に水である。先日の新聞の記事にもあったが地方では人口が半減するという話も出ているので、このような予想以上に地方の人口が減っていくと思うのでこの数字はおかしいのではないかと。これを理由に、高知南高校 1 校が閉校となるのはおかしい。2 校位閉校にしないととても 6 学級は維持できないのではないかとと思う。</p>

	<p>私立校も絡んでくるが、全員が県立に進学するわけではない。私立の学校に半分以上流れるのではないか。そうするともっとおかしな数字になる。その検討をお願いしたい。</p> <p>4～6学級の教員数の差異についてである。計算すれば1人当たりの教員数は変わらない。その点は説明の仕方としては好ましくない。広島県教育委員会が検討した平成24年12月現在の資料であるが、ほとんどの37都道府県で統合を検討している。その内ほとんどの県が4～6学級で人口の多いところで6～8学級である。7割位が4～8学級であり、このような規模を想定している。3月8日の時にそのような質問が委員から出ているがそのような資料が出ないままである。傍聴していたので手元の広島県の資料を出そうと思ったぐらいである。高知南中高校を閉校するために資料を集めるのではなく、もう少し広い視点でメリットとデメリット両方を出して欲しいと思う。</p>
教育長	2,000人減っている中で1校のみの統合で大丈夫かとの話であるが、これは全県的な話であり、高知市内では600人程度で今の時点では維持できると推計している。
保護者代表 教育長	私学を含めてのことか。 私立校については、今の私立校と公立校の割合が変わらないものとして推計している。例えば、今の時が7対3であれば、20年後も7対3との前提で試算している。
保護者代表 教育長	それなら私立が潰れてしまう。 私立への進学者数が変わらなければ、統合の問題は更に厳しくなる。
保護者代表 教育長	他の学校を検討するのか。 そう言うことではないが、厳しい状況ではある。
保護者代表	全体で2,000人減ることが高知市内は600名減るが、この資料の中では学級数では卒業者は750名の減を学級数規模では910名減を想定しているが、その差約160名で4学級規模である。4学級であれば高知市内の高知工業高校の専門高校を除く、高知市外の岡豊高校も除き、郡部の高校も除いて、高知市内の学校については、高知追手前高校、高知小津高校、高知西高校そして高知南高校も含めて4学級を振り分ければ、6学級を維持できることになる。そういうことを考えて単純の計算では高知市は6学級以上が維持できる。高知市では生徒数が600名の減少であれば、その差が150名となる。その分の学級数は増やすことができる。これは、ペーパーの質問に入れている。
保護者代表	平成18年に教育基本法が改正された。その中で、伝統を重んじると書かれている。子どもの人権については学校の中でも重要視している。今回の発表は入学願書を出した後であった。新聞報道があつてまず教育委員会に問い合わせた。「突然の発表なので入学願書提出先を変更させてもらいたいが可能か。また、学校に合格した場合であっても、他の学校に行くことは可能なのか」と質問させていただいた。すぐに返ってきた回答が「一切考えてない」であった。今は、不幸な出来事がなく安心しているが、一番大事な子どもの考え方や意見

	<p>がこの計画の基本に全く入っていない。そのあたりは、委員の方々はどのように考えているのか。あの時点での発表は本当に良かったのかどうか、子どもの人権についてお話をいただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>発表の時期については、受検の時期を控えており時期的には良かったとは思っていない。その点では申し訳ないと思っている。再編計画そのものが緊急性のあるものであり、子どもたちに辛い思いをさせたと思っている。我々、教育委員会としても子どもの状況はどうかと、子どもたちについてケアしていくことは議論させていただいた。今年入学した生徒は中学校の3年間及び高校の3年間においてはすべての学年が揃う状態になっている。子どもへの影響は極力出ないようにしていくという思いも教育委員協議会でも話している。実際の細かい点について配慮は今後もする必要がある。</p>
<p>保護者代表</p>	<p>先程、子どもたちの心のケアしている、それを教育委員の方々でも話しているということであるが、実際に高知南中高校閉校との間違った新聞報道があった時、教育委員会の方から説明に来てください、子どもたちが戸惑っているので話を聞きに来てくださいと何度かお願い、学校にもお願いしたが、1ヵ月以上子どもたちは正確な内容は一切知らなかった。それについてはご存じであったか。子どもたちのケアをしていきたいとのことであったが、このような情報は実際に委員の耳に入っているのか。重複するかもしれないが、学校の状態をどなたか見に来ていただいたか。</p>
<p>教育長</p>	<p>私は4月からなので、その時点ということではないが、聞いている話では、生徒の皆さんの気持ちについてケアするためにアンケートを実施したり、緊急に臨床心理士の方の配置をさせていただいて対応させていただいた。</p>
<p>保護者代表</p>	<p>そのアンケートの方法だが、白紙の紙を生徒に渡して、「今、閉校についてどう思いますか」について書けということであった。それはアンケートと言えるのか。普通、放課前に白紙の用紙に閉校のことを何ヵ月も経ってから書けと言っても意見が出ることは難しいことで、書ける生徒は優秀な生徒であろうし、精神的に落ち着いている人は書けるかもしれないが、何もペーパーに書けない子どもたちがストレスを感じ、リスクを抱えているのだと親として思う。やり方がアンケートと言えないのではないか。設問のあるアンケートをやったのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>アンケートについて説明させていただきたい。1月27日のたたき台の協議会以降、子どもたちに色々な大きな影響があることでスクールカウンセラー、スーパーバイザー等と協議し、子どもたちの思いについてどのように聞き出していくかについて自由記述が良いと判断した。アンケートは設問形式もありいろいろなパターンがあるが、スクールカウンセラー、スーパーバイザーと教育委員会が協議し、学校も一緒になって考えた中で自由記述となり、子どもたちの変容を聞き出したいとのことでの自由記述となった。</p>
<p>委員長</p>	<p>学校との意思疎通ができていないということであれば我々も気を付けていきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。</p>

保護者代表	自由記述の理由であったが、白紙の紙を出して放課前の生徒に思いを書いてください。これは弁護士さんから見てどのように思われるか。社会的に見て書けるものか。どういう風に思われるのか。そう考えると、自由記述は色々なことが報告され、説明され、議論され理解したうえで書けるものである。何も説明がないままで、自由記述では書けない。子どもたちには間違った情報が回っている。小学校や中学校時代の同級生に「お前のところ閉校やお」とずっと言われている。その中で自由記述は大人であっても非常に難しいことである。ましてや子どもたち、中学生や高校生にとっては非常に過酷なものではないだろうか。後でも構わないので見解をお聞きしたい。
委員長	実態を確認して、誤りのないような対応をしていきたい。
保護者代表	本当に人権として、私は訴訟問題になる事例ではないかと思うが、この当たり、弁護士さんとしていかがか。
委員長	この件については、詳しい内容を聞いてからではないとこの場では回答できない。
保護者代表	それであればアンケートをして対応しているという認識はおかしいのではないか。 保護者の意見はこれほど多いということを理解して欲しい。その根底には子どもたちへの思いがあり、安心して勉強できる環境をつくってあげたい。それが保護者、大人の責務だと思っている。そのような中でこのような質問が出たことを認識した上で、今後の振興計画をつくって欲しい。そして、保護者に対して報告をして欲しい。そして、全て回答をお願いしたい。 最後に署名活動をした子どもたちはクラブが忙しい中、授業が終わった後、休日に署名活動を行った。暑い中頑張った結果約 17,300 人の署名を集めた。厳密に言えば「〃」をしているところは除いている。本来ならもっと多く署名を集めている。その思いは高知南高校の良さを子どもたちが把握していると理解してもらいたい。
委員長	長時間に渡って貴重な意見ありがとうございました。このような意見を参考にしながら、今後、再編振興計画について策定していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○高知南中高関係者 校友会との意見交換

校友会代表	校友会の会長である。 先ほどの保護者の意見に、我々校友会の意見が入ってすべて言われている状態である。事前に確認させていただきたいのは、この会での意見聴取というものはどれくらい反映されるのか。以前から質問すると、検討しますと言われたものの常に実現されず、回答がない状態である。ここで、私たちの思いを述べたとしてもどれだけ反映されるのか、本当に検討されるのかどうか。完全に統合ありきのまとめになるのか事前に聞かせていただきたい。
委員長	この会は1月27日に示した「たたき台」を発表した際に、色々と意見をいただいた。いろいろ意見がある中で、「たたき台」の意見をまとめて、最終的に

	<p>は再編振興の教育委員会の案をつくり、県民の意見を伺うことになり、最終計画になる。今日は、再編振興の案に向けてのご意見をお聞きすることになる。ただ、意見をお聞きするのは高知南中高校関係だけでないので、他の関係者や、教育関係者からも意見を聞いたりして最終的にまとめ再編振興計画案をつかっていくことになる。</p>
校友会代表 委員長	<p>統合ありきではないということで理解して構わないのか。 これはたたき台としてお示したもので、次の段階に向けて意見を伺っている。案が確定している状態ではない。</p>
校友会代表 委員長	<p>覆ることもあるいは、変わるということもあるということか。 今後の色々な意見を聴く中で最終的に決めていくことであり、今は最終案に向けての意見を聞いているところである。</p>
校友会代表	<p>内容が保護者会とかぶるが、校友会の方でも会員数6,000名以上いるので、今日の資料に対して質問があれば、出席していた私たちは答えなければならないのでお聞きしたい。専門の高校は高知工業高校だと読み取れるが、専門高校は別途考えるとあるが、「生徒の命を考えるなら」との発言があったが、命を考えていくことであれば専門性ということは考えてはいけないのではないのか。</p>
委員	<p>専門性というのは。</p>
校友会代表	<p>専門性があるところは別途考えるという点である。</p>
委員	<p>工業とか商業とかのことか。</p>
校友会代表	<p>そうである。そこを分けて考える点である。</p>
委員	<p>高知南中高校は、中高で合わせて1,000人生徒が通学している。中学生は半分子供、高校生は半分大人である。隣接して、高知工業高校があるが、高知工業高校は高校生である。その時に高知南中高校の方はよりパニックを起すのではないかと考えた。1,000人が日頃避難のことを意識していても1,000人を守りきれぬかであり、高知工業高校と分けて考えたいと思ったところである。</p>
校友会代表 教育長	<p>何となくわかる。大人と子供では、全員が同じように避難できないという点か。補足する。高知工業高校も浸水深はL2レベルで3Mであり、津波の心配がされる。当然、津波、浸水対策をやっていく必要がある。高知南も避難ということでは津波、浸水対策を取っているが、統合ということを考えた時、トータルで考えた時に高知南中高校は統合で移転しての方が良いのではないかとということである。それ以外の専門系の学校が考える必要がない訳ではなくそこは同じである。</p>
校友会代表	<p>先を見越した統合との話があったが、本当に先を考えるのであれば、高知工業高校、高知南高校、高知西高校の3校の統合も考えているのか。工業科、普通科の統合が一切考えられないのか。いっそのこと高知工業高校も高知西高校も高知南高校もやめて、まったく新しいものをつくるのはどうか。本当に先を考えると、それだけ人口減であるのでこのような考えもありではないかと思う。</p>
教育長	<p>産業系学科と普通科との統合が全くありえないことではない。色んな意味で統</p>

	<p>合がしにくいと聞いている。産業系は、それぞれの学科への対応が必要であり、色々な施設、工業関係であると様々な施設が必要である。そのようなことを考えると普通科と工業科の統合は難しい面がある。ただ、須崎市では、須崎高校と須崎工業高校の統合案も出している。それは、統合できる環境であると整理したものである。高知工業高校についてはそのような方向でという事ではない。細かなことは担当課長から説明させてもらった方が良いと思うがそのように聞いている。</p>
校友会代表 委員長	<p>このような意見を言っても検討課題に上がるのか。</p> <p>色々な可能性を検討しているので、皆さんが言われる意見が今後、参考になるかもしれない。</p>
校友会代表	<p>先程の件であるが、須崎市で須崎高校と須崎工業高校とが統合できて、高知市ではどうして、高知南高校、高知西高校、高知工業高校の統合ができないのか。明確に教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>須崎高校と須崎工業高校については、普通科3学級、工業科3学級での統合であり、全国的にもそのような統合例があり、本県でも可能であると判断し案にしている。例えば、高知南高校と高知工業高校が統合すると工業7科、南2科となる。工業が大きい中に普通科が統合される例は全国には少ない。工業科が大きい中に普通科が入り運営するのは学校運営上非常に難しいものと考えるところから統合は困難であるのではないかと言うことで考えている。</p>
校友会代表 教育長	<p>現在ある高校を全てまとめた統合案とかは考えていないのか。</p> <p>現実として敷地の問題もある。色々な費用を考えた時に今ある資産をゼロにしていけるのかとの問題がある。現実の問題と考えた時にそのような考えにはならない。</p>
校友会代表	<p>教育委員会や教育委員の皆さんは、自分たちの母校がなくなることについて、どのように考えるのか。個人的なことを含めて教えてもらいたい。このような形で母校が閉校、廃校になることは、私たちにとっても生徒たちにとってもいきなりのことである。</p>
委員長	<p>母校がなくなることは非常に辛いことだと理解できる。ただ、我々も辛い思いをしている。生徒数の減少により統合については避けて通れない状況になっていることであり、どこに犠牲を生じさせるかがでてくる。全国的に見てもかなり厳しい状況で統合されている。本県においても大きな関係があることで、母校がなくなることは非常に辛い思いをすることを分かっている中での検討である。</p>
教育長	<p>現地に学校がなくなることになるので心が痛むことも良く分かる。あくまでも統合であり、高知南中高校の実績を活かし統合し新しい学校をつくっていくことであるとの考え方である。なくして統合するのではなく、両校合わせたの統合であることを理解して欲しい。</p>
校友会代表 教育長	<p>統合により高知南中高校の何が残るのか。</p> <p>中高一貫教育の実績も引き継いでいく。国際理解教育の実績は活かしていけ</p>

校友会代表	る。
事務局	残るのはそういった実績であって後に残るものは何もない。高知西高校は名前が変わることもなく、高知南高校が統合されても何も変わらずに進むことか。
校友会代表	校名については、今は統合案を検討している段階なので、校名をどうするか の議論をする段階ではないと判断している。今は答えられない。
教育長	新聞発表が1月28日であったが、それまでにどうしてこのような案がある ことを知らせてくれなかったのか。
校友会代表	タイミングが受験シーズンに重なったことについてはお詫びしているところ である。こういったものについて内部的なことで議論してきたが、具体的な 校名を出して公表するという事は非常にインパクトが大きい内容であるの で、案が固まるまで検討の途中段階のものを色々お示しすることは、混乱を招 くようなことがあったのではないかと推測になるが、今の私の立場で考えても、 検討の途中段階のものを何らかの形で公表してしまうものは非常に混乱を招く ものと考えます。ただし、最終案でない段階での協議会の中でのベストの案で はないかということまでいった状態で、できるだけ早く示したということでは ないかと思っています。
事務局	先程、学校の名前を検討する段階ではないとの発言があったが、これだけ多く の人が反対するのは、前に頂いた資料では最後の1年生は後輩が募集停止で、 最後の1年は1学年だけになってしまうこと、廃校ありきの資料であり、本当 に欲しいのは統合後の案を示したものである。みんなが納得できるものであ れば、ここまで反対しないのではないかと。統合後の案を出してもらえないの か。
校友会代表	後の案は具体的な校名などのことか。
事務局	そうである。
校友会代表	先程言ったように今の段階では難しく、ご意見をお聞きして検討が進んだ後 に検討していかねばならないと考えている。今それを言える段階ではないと 考えている。
事務局	後のことがわからない段階では、反対も、賛成もできない。
校友会代表	意見をお聞きして、内部で検討してみる。
事務局	今後も人口減は止まることがないので、このような事例があるのではないかと 思う。同じ様なやり方でやっていくのか。私たちはかえって危機感を覚える。 10年かかるので、高知南中高校と決めなければならないということであった が、20年後には同じ様なやり方でどんどん進めて行くのか。このようなやり 方は変わらないのか。
委員長	統廃合は高知県の教育において重要な問題である。今の状況を受けて考えると 生徒数が増加に転じることはない。これから後期計画に出るかもしれないが 学校の統合問題は高知市だけの問題ではなく県下全般でのことになる。その 時には関係者の理解を得ることをしていかなければならない。苦痛な思いをさ せることは否めないが、やっていかなければいけないことなので、その時に は理解を得られるよう努力をしていかなければならない。

校友会代表	先程の保護者からの意見に対する回答はできるだけオープンにしてもらいたい。こちらにももらえるのか。
事務局	時期的にいつになるかは言えないが、まとめた文書はお返す。
委員長	いろいろな意見を頂きありがとうございました。いろいろな形で協力をいただきたい。

○高知南中高関係者 進取会との意見交換

進取会代表	<p>P T A進取会の会長である。このような場を設けていただきありがとうございます。進取会はこの席に座った3名と後ろに県議2名が同席させていただいている。</p> <p>進取会は、平成2年に設立した。第1期生が卒業する際に、P T Aを卒業した保護者OBとして新設高校を支援しようとの思いで設立し20数年を迎えている。高知南高校は平成28年に開校30周年を迎えるが、今まで我々もいろいろな面で学校を支援してきた。親睦が活動の主なものでありOB教員との交流、委員長にも高P連の役員をしている時にはお世話になったが、先生方と役員が集まって親睦をはかっていたりしている。一番の目的は、現役P T Aの要請により物心ともに活動に協力していくことである。体育祭や文化祭の協力、中高が一緒になり活動がより活発になった部活動の遠征費などがP T A予算では賅えないときには、進取会の卒業生から集めている会費で支援をしてきた。部活動については県にお願いをするが、細かい備品程度、例えば弓道の弓の購入などは進取会がさせていただいた。</p> <p>今日は、保護者、校友会の方々が意見を言って頂き、意見がかなり出されて、重複するところがあると思うが、一つ思いを聞いてもらいたい。</p> <p>1月27日の協議会の翌日の高知新聞に「閉校」と活字が出たのを見て時は言葉で表せないようなショックであった。その後、進取会の幹事から1月27日の資料を頂いて中身を精査したところ「閉校」ではなく「統合」であり、どうして高知新聞は「閉校」と書いたのか、子どもたちは我々以上にショックではなかったかと思う。私の子どもは卒業して10年以上経過しているが、「非常にショック」であると言っている。</p> <p>1月27日の内容になるが、中高一貫教育が書かれているが、個人的にも中高一貫教育の立ち上げに関わっただけに関心がある。一貫校の特色について、県議会でも質問があった。その時に、前教育長は、生徒、保護者からの学力向上の期待が大きい中でその期待に十分応えられていないとの答弁があった。安芸市と四万十市と中央部の高知市に中高一貫校をつくった訳であるが、当初は3校の連携、P T Aの連携もなされていたが、今はできていない。その辺を捉えて今後、高知市内でも中高一貫校を継続するために再編の中で高知西高校となることが書かれている。高知南高校は成功したかどうかの検証はどうなっているのか、その点を委員の皆さんはどう感じられているのかお聞きしてみたい。高知南高校がグローバルな教育と言うことで、高知西高校の英語科が国際バカロレアということで資料に書かれている。国際バカロレアということでその関</p>
-------	--

<p>進取会代表</p>	<p>係の学校をホームページで調べてみると全国で 27 校位しかないとか、韓国は一生懸命導入に取り組んでおり 1%の優秀な人材のために国外から教員を招き取り組んでいる。文科省がそのようなことに目を向けているというのは理解できるが、今回の合併問題で高知南高校が挙がり国際バカロレアにつながる事に対しては附に落ちない。高知南高校は中位の層の生徒を育てる学校で、高知県を担ってくれる生徒を育てる学校ではないかと思っている。知事の推進している産業振興計画や地産地消・外商に取り組める子どもたちを育てるにはグローバルであって国際バカロレアまでは不要ではないか。あのような言葉が出てくるとは本当に真摯に考えた案なのかと、絵に描いた餅ではないかと思う。国際バカロレア教育はレベルが高く、音楽や美術の授業も英語で行う。そうなると、今の中学校の選考の方法も変えなければならない。高知西高校で 80 名を選ぶには私学と同じような選考が必要であり、そこまで振るいにかけていないといけないのではないかと。そんなものを作ってどうするのかという気がする。</p> <p>高知南高校の本当の良さは、30 周年に向けて、これからやっとなりて熟成されていくのではないのか。人口減の問題は避けられないが、高知南高校と高知西高校の統合は拙速すぎるのではないのか。知事ももう少し議論する、丁寧な形でと言っている。また、高知市議会でも請願が受理されている。これも県も重く受けとめなければならないと知事の言葉にあった。我々としては、支援してきた高知南高校がやっとなりてこれからという時である。生徒の大幅な減少に対しては「高知家」の視点でうまくまとめることをお願いしたい。</p> <p>中学校の一期生の保護者である。</p> <p>自分の母校がなくなることについては委員の皆さんに重く受け止めてもらいたい。</p> <p>高知南高校を選定した理由がいくつか書かれているが、納得できる理由が書かれていない。委員の皆さんもじっくり読んでもらおうと理由が分からないのではないかと。</p> <p>最初に高知南高校をターゲットにして、統合ありきの方向で進めていって、理由を後付けしているというような保護者からの意見であったが私も同じように感じる。</p> <p>市内の高校に限っているが岡豊高校は高知市と南国市の境近くにあり、高知市から数メートルの場所にあり、通学している生徒はほとんどが高知市から通っている。あえて高知南高校と競合するところに岡豊高校を含めて選定する事も考えられる。岡豊高校を含めて議論することが必要ではないかと思う。</p> <p>中高一貫教育校の成果がこれから目に見えて表れてくるところであり、巣立った子どもたちが社会人になり県内で成果を現れる。これからだと思う。その矢先で廃止である。いままで高知南中学校に入学して頑張っていこうと考えている生徒たちの心境をどう思っているのか。また、成果がはっきりと精査されていない段階ではないかと思う。その段階であえて県として中央部にある中高一</p>
--------------	---

<p>進取会代表</p>	<p>貴校である高知南中高校をターゲットにするのは拙速すぎるのではないかと思う。全学校の学級数を一律に減らすと全てが小規模校となり色々な弊害が出るということであるが、高知市外の高校は小規模校が多く存在し、そのような小規模校でも学校の努力で、部活動力の向上とか学校力の向上をされている。規模が小さいから駄目と言うことは詭弁であると思う。逆に言えば小規模校を否定することになり、どこかの学校を廃止にすることにはつながらない。</p> <p>高知南中高校の廃止ありきという考えを捨てていただき、岡豊高校などを含めて統廃合を考えるべきである。学級を一律に減らしていった学校の努力を求めることを含めて考えてもらいたい。</p> <p>感情的な意見になるかもしれない。まず、教育長は「4月から」とか「私は4月から」と今後は言わないで欲しい。個人においていただいているのではない。教育長の立場においていただいているので、今までの件をしっかりと頭に入れて、「分かりません」とか「想像です」などの発言をして欲しくない。我々は必死であり、統廃合の対象校の関係者としては、そのような発言をするような人にこの問題を任したくない。</p> <p>もし構わなければ、教育委員さんはどのような理由で人選されたのか。本当に大事なことを協議していく方がどのような理由で選ばれたかをお聞きしたい。</p> <p>次に参考までに申し上げることであるが、高知南中高校の校舎は地域の避難ビルに指定されており、収容人数が2,633名である。単純な数字だけの話をすれば、もし津波がきたときも、16Mととんでもない津波でない限りは、全員屋上に避難できる。中高関係ない。地域の方々も避難できる。</p> <p>次に素朴な疑問であるが、6学級から減って4学級になるとまともな教育が行える教職員の配置がでず、専門的なことができないというようなことを数字で示している説明が教育長からあったが、少し前から「土佐の教育」といって小中高とやってきたが、県教育委員会が国の規格がこうだから、規格に合わないからできませんでは、本当に「土佐の教育」を考えて統合を考えたのか疑問に思う。</p> <p>専門教員が配置できないと書いているが、経費的にも人材的にも、例えば、言語教育の事になるが、リタイアされた方とか塾をされている方の中には非常に語学に関してはグローバルであり、国際バカロレアの授業ができる位の能力をもっている方が高知県にはたくさんいる。そのような方々を教育委員会が活用を考えれば、6学級以上ないとできないということはなく、人材確保ができる。高知の大先輩の方々による、より人間的な深い教育ができるのではないかと思うので統廃合の理由にはならない。6学級以上ないとまともな教育ができないということには、今日の説明をずっと聞いていても納得がいかないので、もう一度ご回答をお願いしたい。</p> <p>非常に思いがあるので、1月28日の朝の新聞を見てびっくりして「えっ」と声を上げた。中高一貫に高知南高校をしたことには、最初は批判的であった。</p>
--------------	--

	<p>その時は高知西高校が候補に挙がっていたと聞いている。しかし、急遽高知南高校になったと聞いている。中高一貫の導入時には正直、教職員の中でも統括が取れていない状態が何年か続いていた。それは事実である。それを高知西高校に移してきちんとできるのか。</p> <p>それと「国際バカロレア」、「国際バカロレア」というが、私は、高知が発展して欲しい、良い人材が高知に帰ってきて欲しいと思うが、たぶん国際バカロレア教育を受けた人材は、高知には帰ってこない人材ではないか。それを考えると高知の頭脳流出につながりかねない勉強をわざわざ、なぜ、高知でしなければならないのか。</p> <p>教育委員会として例えば高知南高校の卒業生がどれだけ高知に帰ってくるなり、大学を出た後、高校を出た後にどれくらい高知を支えているのか、高知西高校を出た方がどれくらいそのようになっているのか、どれくらい高知を支えているのかを検証したことがあるのか。20年と長いスパンの資料を出してもらったが、本当に子どもたちの幸せ、家族の幸せ、高知のことを考えると高校という時代は非常に大切である。大学に行きました、高知にはだれも帰ってきませんというような、高知に残らない教育をすることは教育委員会として非常に間違っていることである。</p> <p>統廃合についても先の先を見通した統廃合を考えてもらいたい。ただ、最初から聞いていて委員長、教育長の発言は高知南中高校の統合ありきしか聞こえないような回答であった。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。個人的に会長が高P連で活動されていたこともよく存じ上げているし、高知南高校ができた時に、非常にPTA活動が盛んであったことも理解している。</p> <p>学校の評価が低いから統廃合をするのではない。他の学校の事も色々な形で検討した。学校名を上げると混乱を招くので控えさせてもらう。色々な条件を検討し、高知南高校ができた時に想定できなかった東日本大震災についてのことや高知学区だけでなく、県下全域で統廃合は避けては通れない状況になっている。どこかが辛い思いをしなければならないことが現実の姿である。これまで努力してきたことについては、なんとか次の段階で活かす方法はないのかと常に念頭において取組んで行きたいと思っている。</p>
教育長	<p>県立中学校を建設した時も私は教育委員会事務局にいた。期待が大きく紆余曲折があったが、今は順調な状態である。普通で言えば統廃合に該当する学校ではないが、残念なことであるが統廃合の対象となっており現実として仕方がない。これから関係者の意見を聞きどのような方法があるか、教育委員全員が事務局を含めて良い方法があるのか検討していきたいと考えている。</p> <p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>中高一貫教育校として、高知南中高校が成果を上げていることは十分評価させていただいた上での今回の話であることをご理解していただきたい。高知南中高校ありきではないかとの意見があったが、最初に示したようにトータルで検</p>

事務局	<p>討したうえでの、最終的にベストの案であったと判断したのであり、必ずしもおっしゃるようなことではないのでご理解いただきたい。</p> <p>私自身の事であるが「4月から」については、決して責任逃れをしての発言ではないので、これが耳障りであるようであれば、これからは使わないようにしたい。</p> <p>委員の選定については、教育委員は教育のプロではない。ただ一般の県民の中から高い見識をもった方になっていただいている。また、1名は保護者代表である意味合いもある中で選ばしてもらっている。</p> <p>今日頂いた意見は受けとめ真摯に検討したいと思っている。</p> <p>国際バカロレアについて回答させてもらう。国際バカロレアは英語を使い難しいとの意見であったが、全て英語を使うということではなく、日本語を使いながらの国際バカロレア教育も行われているので、超エリートをつくるものではないと捉えている。高知県への還元がないのご意見であったが、英語を学び県外に出ていく生徒、海外に出ていく生徒もいると思うが、県内でもグローバル人材が求められている状況がある。例えば県内企業でも海外にも出ていっている。そのような面からも県内でもグローバル教育の需要が考えられる。国際バカロレア教育を受けた生徒が全て県外に出るとは限らない。いろいろな面でグローバル化であるので活用があると思う。県内で活用できないから無駄であるという視点は持っていない。</p> <p>もう一つ、高知市外では小規模校が頑張っているのではないかと問いがあった。高知市内校でも小規模校になっても大丈夫なのではないかとあったが、郡部では地域の方や教職員の方の努力により、小規模校のハンディを乗り越える努力をしている。しかし、市内は生徒数が多いので、それを活かすためにも、教育環境を守っていくためにも、大人数の学校を残したいとの趣旨で説明させていただいた。説明が悪かったが4学級を否定しているのではなく、6学級が望ましく、より良い教育環境が保てると考えている。</p>
-----	---

○高知南中高関係者 国際教育振興会との意見交換

国際教育振興会代表	<p>最後の国際教育振興会である。進取会と同じく外部団体である。平成になってから子どもたちの国際理解ということで始めた。活動としては中学生のイングリッシュキャンプ、オーストラリアやアメリカでのホームスティについて資金を出している、そのようなことを中心にやっている。今はなかなか好評である。結成当初は国際理解も難しかったが、今はもう国際化で英語を中心に小学生低学年から学んでいる。それを外部団体として支援している。</p> <p>高知南中高校がなくなるということで悲しくて怒っている。教育委員会に対して残念であるし、本当に理解しているのかと思う。</p> <p>様々な厳しい状況があった経緯のなかで、やっと中高一貫校が、スポーツ面、学力面で伸びてきたところでこの様なことが発表されて残念である。時代の流れで仕方ないことでもあるが残念でたまらない。少子高齢化で10年後20年後を見た時には統合は必要かなと思うが、残念でならない。</p>
-----------	--

<p>国際教育 振興会代表</p>	<p>先日、中学校の校長会での意見を聞いたが、普通科の割合が低くなるので、高知南高校を残すべきだとの話があった。中間層の生徒はどこの高校に進学するのか。落ちこぼれが出た時にそのような生徒がどのような学校に進学するのか。高知市外の学校に進学することになれば、保護者としても非常に困るのではないかとの意見が出ていた。このようなことも含めて考えてもらいたい。子どもたちが高校に入れなかった時の気持ちを思った時にもう少し考えていただいた方が良いと思っている。</p> <p>また、委員長が、関係者が納得していただけるかたちで努力すると言っていたが、今までの意見のやり取りにしろ、資料にしろ、次の段階に進んだとしても並行線のままで終わるのではないかと思う。お互いが主張し、落とし所が見えない。落とし所をどうもっていくのか。白紙撤回となれば、教育委員会のメンツが潰れると考えられる。教育委員会としても難しく、こちらとしても難しい。その落とし所をどのへんにするのか考えて欲しい。お互いが、県民が、市民が納得いくような形で、市議員の話でもあったが反対が通って、知事さんが出てきてもう少し丁寧ということになったと新聞に載っていた。その当たりを意見の中でどのいうふうにもっていくかだと思う。意見が出尽くしたと思う。何回も何回もやって教育委員会も「たたき台」を変えたとしても、そう変わらないと思う。そのところを納得できるような内容を教育委員会が提案してほしい。私の気持ちとしては白紙撤回が一番良いのではないかなと思うが、10年後、20年後を考えるとどこかが犠牲にならなければいけない難しい問題だと思う。せつかくこのような会を開いているので高知南以外の高校でやって欲しいと思っている。</p> <p>子どもが中学校の2期生で、くじ引きでの選考で入学した。高校もストレートで進学でき、統一模試を受けたら、高校受験をしても入れないレベルであった。そんな事ではいけないと思い当時の先生などに話をした。PTAの方も必死であった。そして、だんだん学校が良くなっていった。中学校の1期生、2期生が高知南中高校を悪くしたと言われ、親としても苦しかったが、当時の先生方が本当に良く、高知南中高校がやっと良くなってきたと言われるようになった矢先の新聞の報道である。「南がやまるぞ」と言われた時に、「うそでしょ、こんなに人気があるのにどうして」と言った。</p> <p>いろいろな資料を見てきたが、高知南中高校をなくす資料しか出てきていない。</p> <p>どうかお願いしたいのが、子どもが多くなったから学校をつくり、少なくなったら無くすというように子どもに思われないようにしてもらいたい。子どもに「もしかして高知西高校をグレードアップするために犠牲になったのか」と言われた。親として良い学校であると思ったから勧めた学校であるのに残念である。</p> <p>津波については、校長先生に聞いた時には、「耐震も免震も大丈夫」「この学校は大丈夫」と言われた。須崎市で言えば須崎高校の隣は須崎中学校である。高</p>
-----------------------	--

<p>国際教育 振興会代表</p>	<p>校を高台に上げるなら、中学校も高台に上げていく必要があるのに、中学校は大丈夫なのか、など思うようになり、長浜の工業団地が大丈夫と言われているので、高知南中高校も大丈夫じゃないか、何をみんな言っているのかななども思っている。統合と言う案を出すのではなく、難しいものかもしれないが残すことを考えて欲しい。どうしたら残すことができるのかについては、親はみんな協力する。子どもの成長のためであれば地域の方も親もどんなことがあっても力を出し切る。だから高知南中高校の子だけが犠牲になるような方向にはもって行ってもらいたくない。郡部が少なくなるということであるが、郡部の子ほど街へ出たがる。出身が高知市以外であり 45 年前に高校に入学したが、その時もほとんど 25 名のうち 7 名が進学であった。その内 3～4 名が私学、専門科高校に行き私たち 3 名が地元の普通科であった。その当時から街に出て行っていた。どうせするのであれば教育委員会が、教育のことを考えて欲しい。レベルを上げるとか、学校の教育のことを統廃合ではないことをもう少し考えてくれたらありがたい。</p> <p>中学校の一期生の保護者である。</p> <p>皆さんの意見と限りなく一緒であるが、今回のことで教育委員会の信頼をなくした。すごく残念である。PTA活動を8年間、2人の子どもが高知南高校を卒業するまでさせていただいた。子どもが中学校1期生であったのでとても苦労した。県立高校の中に中学校ができるということで、学校の中の体制も全くできておらず、中学の先生から悲鳴のような声が聞こえてきた。自分たちでは何ともならないので、保護者の方々の方から学校の方に言って動かしてもらいたいと言われた。学力面でも学校の先生方ともめたりし、切磋琢磨して、やっぱり良い学校をつくっていきたいという思いで必死になってやってきた。また、PTAでいろいろ勉強させていただき良かったが、とても苦しかった。そのような思いで、1期生の保護者として誇りを持ち、皆さんこの学校を愛している。進取会や国際教育振興会など、他の県立高校のPTAよりも、深いつながりを持って活動している高校なのではないかと私は思っている。</p> <p>どうしても統合ありきの話しとか思えない。これ以上無駄な話し合いをしても仕方ない。保護者や生徒たちが納得するまで話してもらいたいと思う。向き合ってもらいたいと思う。それをしないで統合ありきで進めることはおかしいのではないのかと思う。どれだけ時間をかけてもそれだけはやってもらいたいと思う。1期生の親として感じたことは、県の見切り発車ということである。それは学校運営の中でもPTAとして関わって感じたことである。会の中でもいろいろなことを県教委の課長さんにも訴えて、高知南の中高校ことは一生懸命やらせてもらおうと言って頂いたのに、10年経つと統合と言うのは青天の霹靂で、ショックの一言である。子どもたちもみんながショックであり、なんとかこの気持ちを汲んでいただいて、色々な選択肢があると思うのでそういうところへ進んで頂きたいと思う。今まで色々意見が出たので思いを述べさせてもらった。</p>
-----------------------	---

国際教育 振興会代表	最後になるが教育は「教え育てる」と書く、そのことを忘れないで欲しい。私 たちも忘れない。高知南中高校は本当に良い学校である。皆さん制服を着て入 学すると絶対好きになる。是非入学してもらいたい。私たちも頑張るので、ど うか良い案が出るように、一緒に努力していきたいと思う。よろしく願いま いたい。
委員長	忙しい中、貴重な時間ありがとうございました。我々も色々な方のご意見を基 にこれから検討していきたい。本日はありがとうございました。

○高知南中高関係者より質問

保護者代表	<p>最後によろしいか、5点ある。</p> <p>先程、命について1,000人規模の中で中学生が避難できないとの話があった。 この地区には小学校、中学校、幼稚園も保育園もある。進取会の方が言われた ように2,633名の避難ビル指定となっているので、中学生だから何何だからと いうのは少し違うのではないか。</p> <p>次に統廃合問題である。須崎高校と須崎工業高校が3学級、3学級ということ であったが、3学級と3学級で6学級という数字を目指すのであると思うが、 本日の資料によると6学級と6学級を合わせて6学級の普通科にしているの は青森県だけである。その他の県は4学級とか2学級という数字で全国が目指 している4～8学級の規模の学校を目指している。東北の方や色々なことを知 っているが、郡部であったり都市であったり土地柄がある。そうした中で4 + 4で例えば6にしたり7にしたりである。他のところは3 + 3で6にしてい る。統合であれば、高知南と高知西であれば6学級 + 6学級で12学級という 統合案でなくてはならない。12学級が少し多いのであれば、少し減らして10 学級位ではないか。</p> <p>それからもう一つ、全国でもこの様な統合は稀である。資料はかなり郡部の僻 地のところも入っているのではないかと思う。立地条件を考えて十分に考えて 頂きたいと思う。回答にはそのようなものがなかった。</p> <p>それから、国際バカロレアの話について、以前のこの教育委員会の中で国際バ カロレアを特化した学校でということに教育長、委員の方々はそのような方向 性を目指す、高知唯一のものを目指すと言っていた。また、資料にも載って いたが、今回の資料には一切そのようなものはない。グローバル化という形で 考えている。いつの時点でグローバル化になったのか。最初はハイレベル、ハ イスペックを求めた学校が必要だということのために国際バカロレア計画し、 高知南中高校の国際科と高知西高校の英語科を一緒にして振興をしていくと いうことで検討したはずだ。それがどの段階で変わったのか。グローバルを 目指すのであれば、現在の高知南高校でもできるので高知南高校にグローバル 科をつくりハイレベルなスーパー・グローバル・ハイスクールにすればよい。 それからもう一つ、各教育委員の出身高校は公立高校であるか私立高校である のか教えてもらいたい。また、子どもさんがいらっしやったら公立高校を出た のか私立高校であったのか構わなければ教えてもらいたい。保護者会、校友会、</p>
-------	---

<p>委員長</p>	<p>進取会、国際教育振興会の思っている気持ちを理解して欲しいということである。</p> <p>最後にもう一つ、委員長は今、高知学園の学長さんであるが、私立の学長が委員長という立場でこの高知の公立の高等学校の再編計画に当たることに我々は疑問に思う。先程、校友会の方から教育委員の人材が適正なのかと発言があったが、そうとったことも踏まえて検討して欲しいと思う。これについては、後日で構わないが検討して欲しい。平等な立場、公的な立場で高知県というものを見て欲しいと考える。</p> <p>私のことを言われたのでお答えするが、私は高知学園短期大学の学長であり、高等学校への関与は全くない。県の教育委員長は、県立の立場で物事を考えるので、影響は全くないと私は考えている。その他のことは他の質問も含め回答したい。それでは終わりたいと思う。長い時間貴重な意見ありがとうございました。我々も努力していくのでどうぞよろしくお願いします。</p>
------------	--